



2017年 6月19日
神島化学工業株式会社
代表取締役社長 池田和夫
(証券コード:4026)

2017年4月期 決算説明資料 ～決算概要及び中期経営計画(ローリング)～



100年の歩み、100年の挑戦

I 当社について 2

- 1. 会社概要 3
- 2. 会社沿革 4
- 3. 事業拠点 5
- 4. 事業内容 6

II 2017年4月期 業績 12

- 1. 業績の推移 13
- 2. 財政状態の推移 14
- 3. 業績概要 15
- 4. 営業利益分析 16
- 5. セグメント別業績 17
- 6. 財政状態 20
- 7. キャッシュ・フローの状況 21

III 中期経営計画（ローリング） 22

- 1. 計画概要 23
- 2. 計画進捗 24
- 3. 2018年4月期 業績予想 25
- 4. 業績計画（ローリング後） 26
- 5. 化成品事業計画の深化 27
- 6. 窯業系建材事業計画の深化 30

IV 株主還元 32

- 1. 株主還元 33

V 補足資料 34

- 1. テクニカルセンター建設予定 35
- 2. 環境への取組み 36

注意事項

本資料には、神島化学工業の業績に関して、歴史的事実および将来の見通しが含まれています。これらの見通しは将来の業績を完全に見通したものであるとは限らず、将来の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素が含まれており、実際の業績は様々な要素によりこれらの見通しとは異なることがあります。



100年の歩み、100年の挑戦

I 当社について

経営の基本方針

無機化学の可能性を追求し

**「顧客満足を第一に考え、
より広く深く社会に貢献していく」**

創業 1917年6月

設立 1946年3月

資本金 13億20百万円

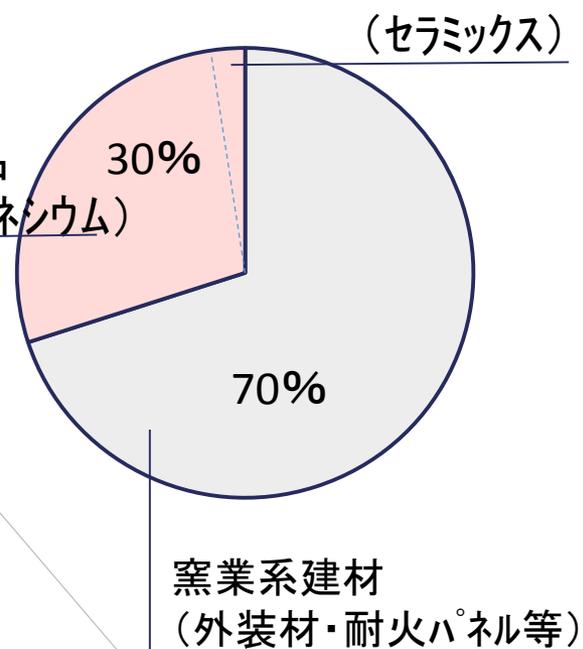
従業員 618名

売上高 226億29百万円 (2017年4月期)

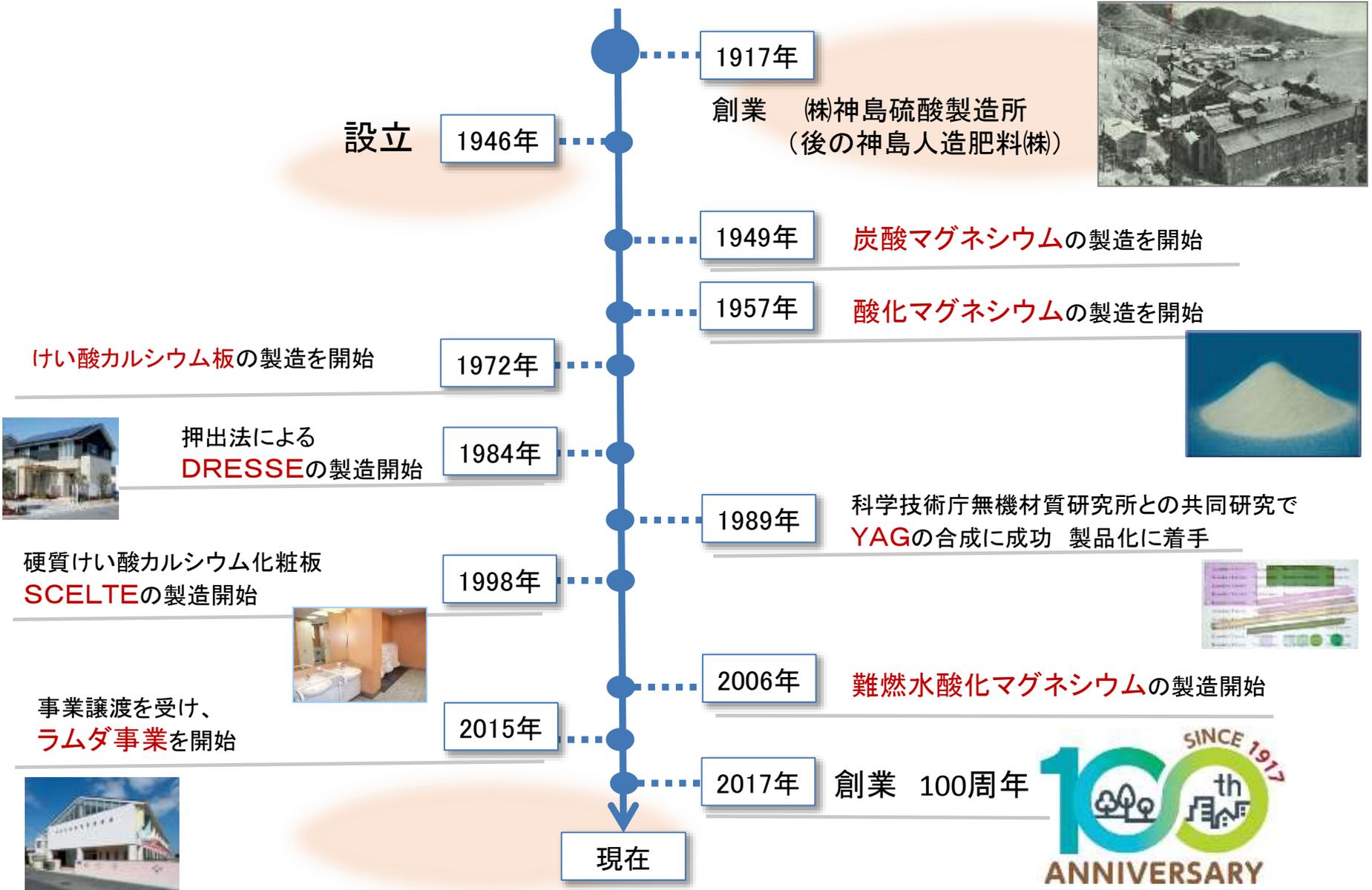
代表者 代表取締役社長 池田和夫

事業内容

化成品
(マグネシウム)

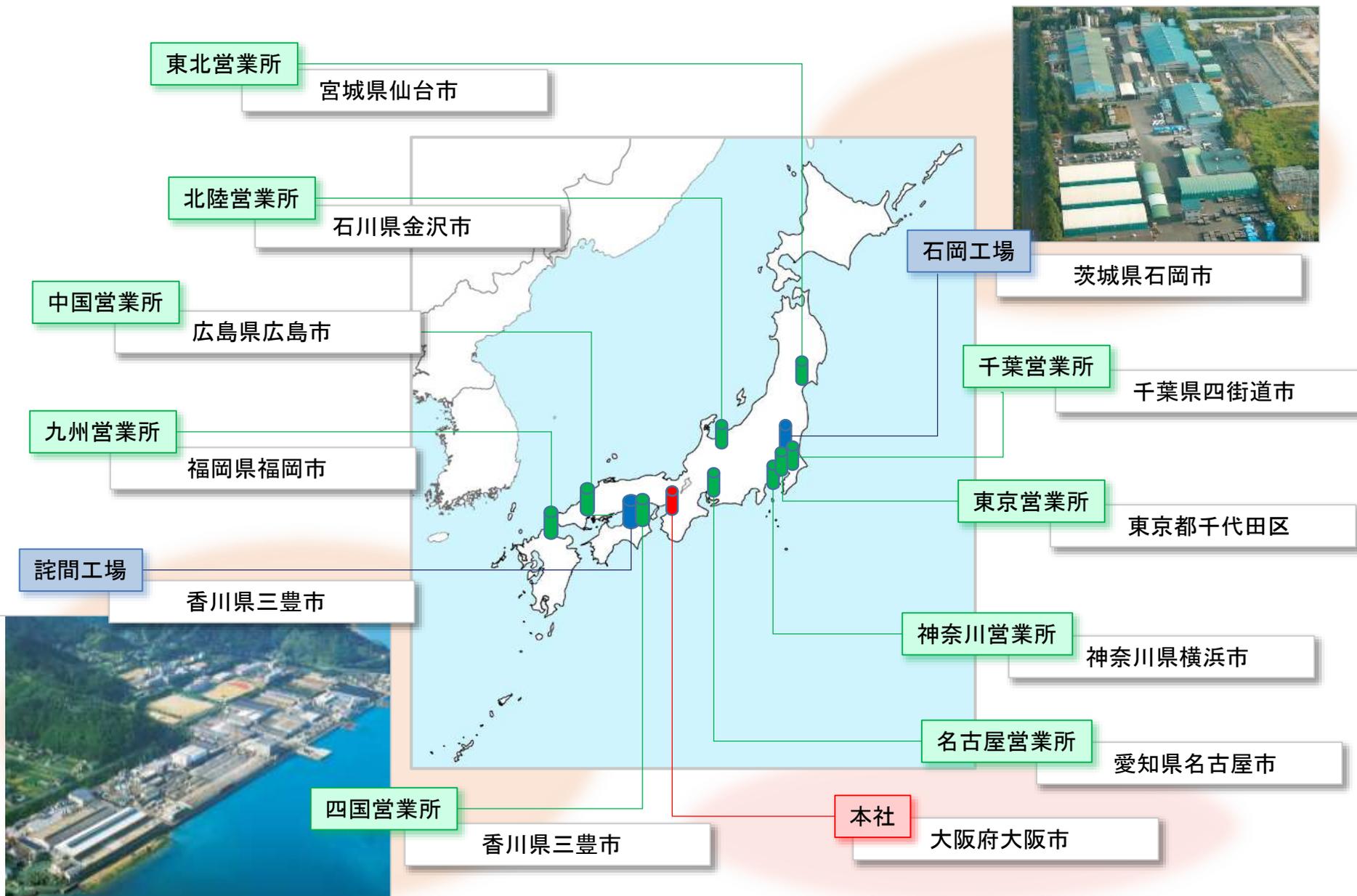


設立



I-3.事業拠点

Konoshima Chemical Co., Ltd.



・住宅分野（外装）



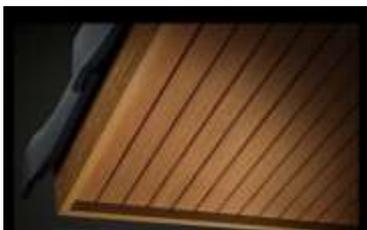
不燃外部造作材（破風板）

寒冷地域の凍害にも強い「押出製法」の外部造作材
GOOD DESIGN AWARD 2015 受賞



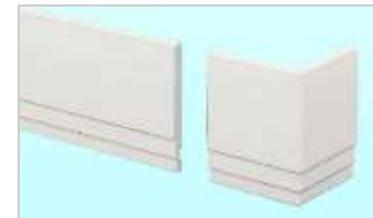
不燃軒天ボード

木目柄、布目柄など多彩なバリエーションの
軒天井ボード
GOOD DESIGN AWARD 2015 受賞



防火サイディング

18mm厚以上に特化した深彫りで本物志向の高級外壁材
職人の高齢化に対応した省施工「プレカット」対応



・住宅分野（内装）

SCELTE
(シエルテ)



トイレ



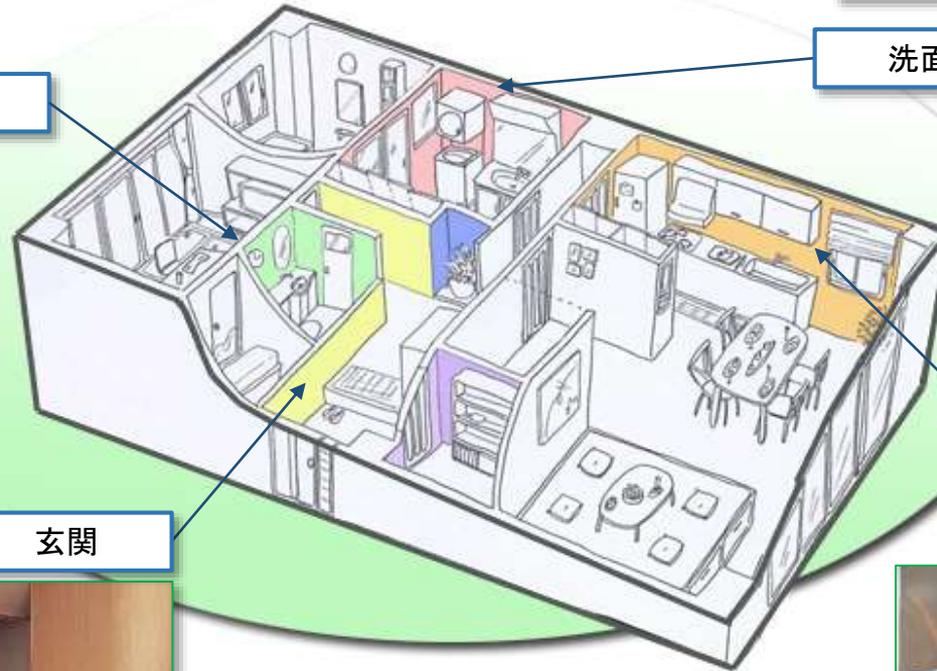
洗面



玄関



その他



キッチン



・非住宅分野(外装)

LAMBDA ラムダ

- ・ 高強度により、最高31mの中高層の建物にも対応
- ・ 塗装によりメタリックやパールの光沢感、コンクリートの風合



DRESSE PREMIUM
〈ドレッセプレミアム〉

DRESSE
〈ドレッセ〉



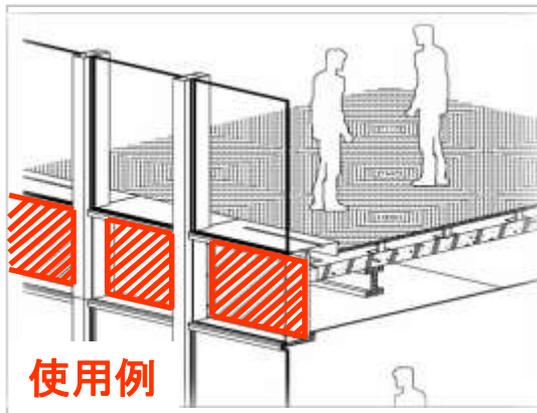
・非住宅分野(外装)

ソニックライトパネルNAS

- ・中・高層ビルのカーテンウォール工法分野でシェア独占
国内最大サイズのパネルを完全プレカット



虎ノ門ヒルズ



使用例

(内装)



- ・表面の鏡面仕上げ、抗菌性の高い内装用化粧
パネル完全な『ゼロホルムアルデヒド』ボード





「海水法」により、「安価」で「安定供給」可能
粒子形状コントロール技術をマグネシウム化合物以外へ展開可能

使用用途例

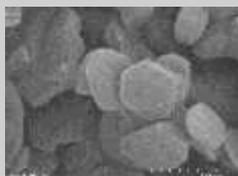
酸化マグネシウム
(スターマグ)



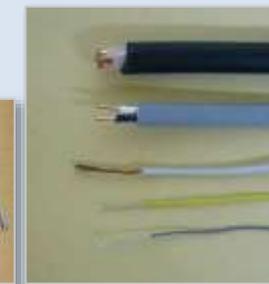
- ・プラスチック部品
- ・合成ゴム部品
- ・医薬用原薬、ミネラルサプリメント
- ・接着剤など



難燃水酸化マグネシウム
(マグシーズ)



- ・エコ電線被覆材
- ・自動車・家電用電線被覆材など



炭酸マグネシウム



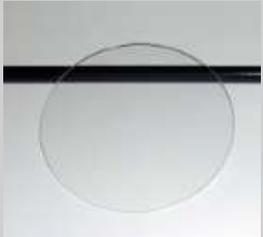
- ・天然ゴム製品
- ・プラスチック部品
- ・塗料、飼料など



世界初「透明・大型セラミックス」の開発に成功

使用用途例

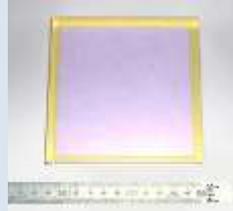
セラミックス



レーザー加工機、レーザーセンサー、シンチレーターなど

レーザー核融合発電（慣性核融合発電）

レーザーで水素の核融合反応を起こさせて、エネルギーを取り出す発電システム。
この研究開発は、当社のYAGセラミックスを使用



大出力レーザー用
大型YAGセラミックス

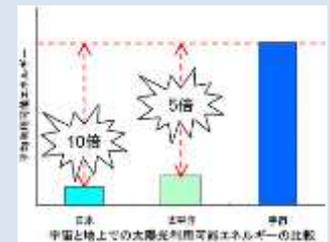
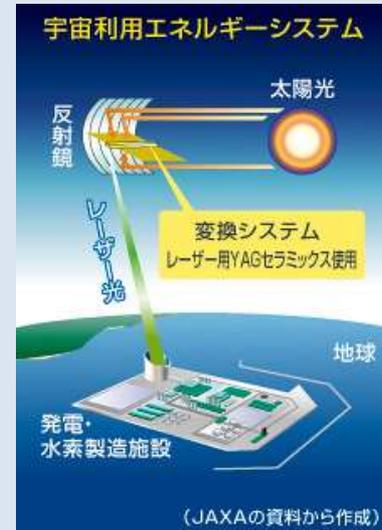


大阪大学 レーザーエネルギーセンター 右：ターゲットチャンパー 左：ビームライン

宇宙太陽光利用システム（SSPS）

ミラーで集光した太陽光でレーザー媒質を励起させてレーザー発振させる。

当社は、太陽光を効率よく励起させられるレーザー結晶の作製を、世界で初めて成功させた。（YAGセラミックス一部使用）



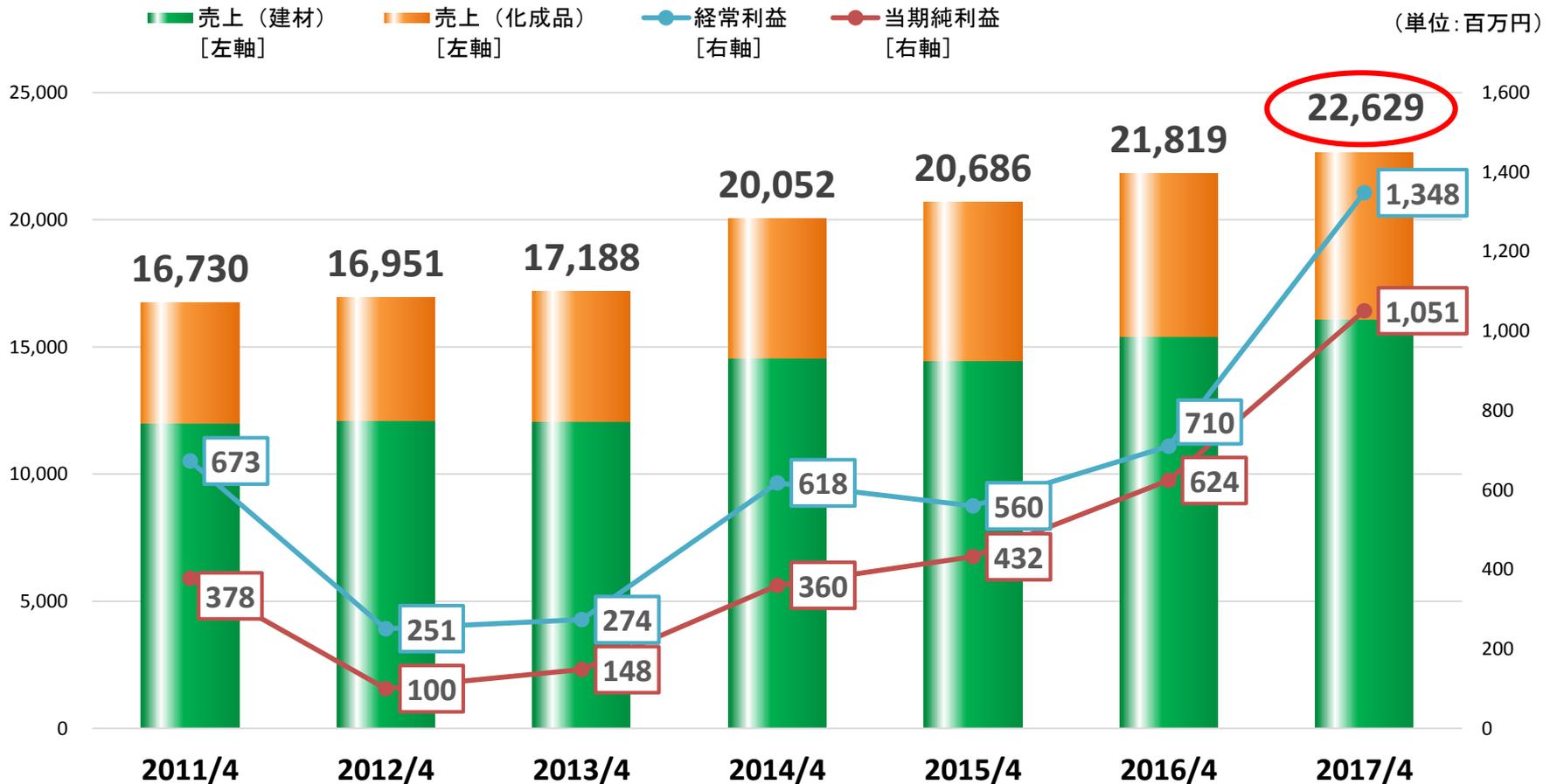


100年の歩み、100年の挑戦

Ⅱ 2017年4月期 業績

Ⅱ-1.業績の推移

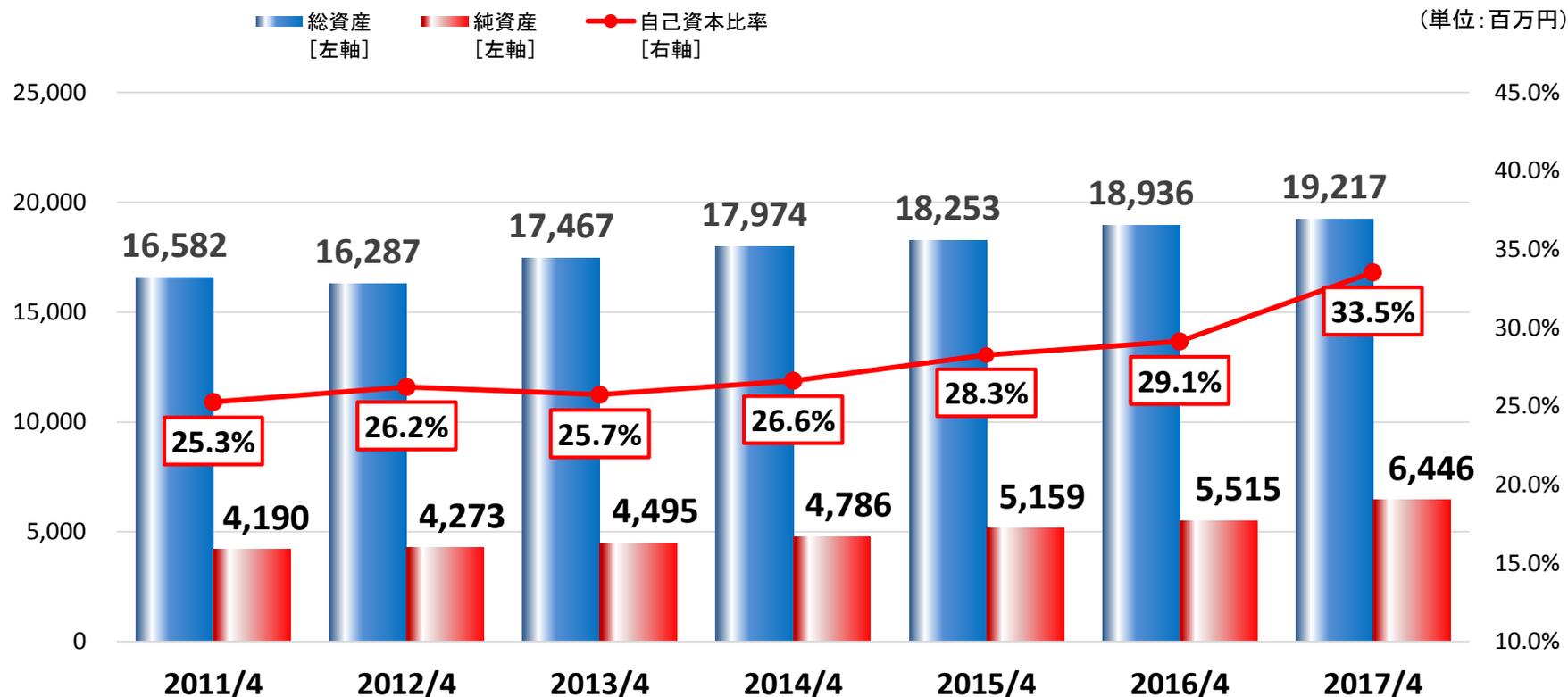
過去最高の売上高を更新



ROE	9.5%	2.4%	3.4%	7.8%	8.7%	11.7%	17.6%
-----	------	------	------	------	------	-------	-------

Ⅱ-2.財政状態の推移

Konoshima Chemical Co., Ltd.



借入残高 (百万円)	7,092	6,510	8,065	6,974	6,670	5,630	4,884
総資産回転率 (回)	1.02	1.03	1.02	1.13	1.14	1.17	1.19

Ⅱ-3.業績概要

Konoshima Chemical Co., Ltd.

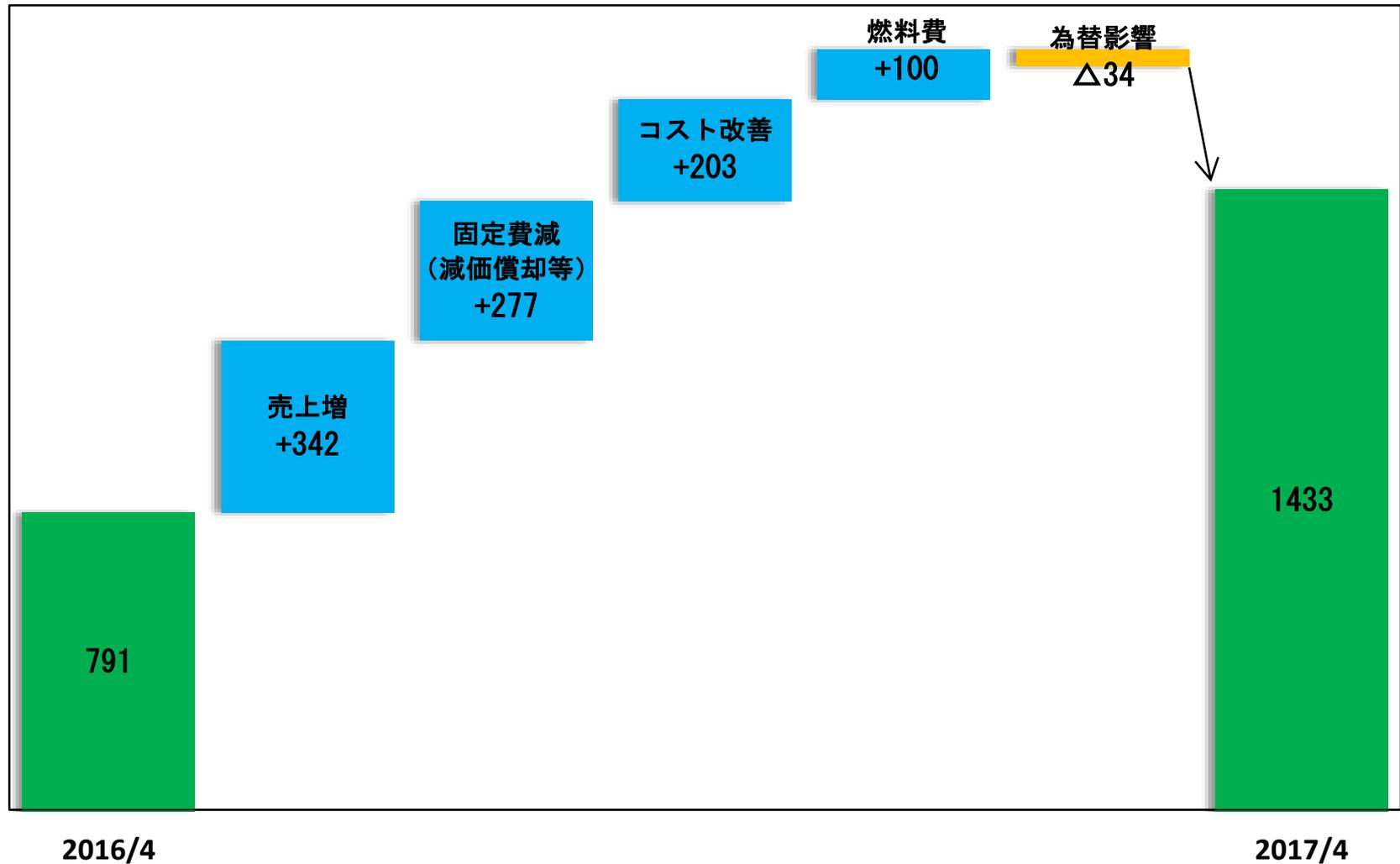
(単位:百万円)

	2016/4期	2017/4期	前期比	
			金額	増減率
売上高	21,819	22,629	+809	+3.7%
売上総利益	5,987	6,718	+730	+12.2%
販管費	5,196	5,284	+88	+1.7%
営業利益	791	1,433	+642	+81.1%
支払利息	116	80	△35	△30.8%
経常利益	710	1,348	+638	+89.8%
(経常利益率)	3.3%	6.0%	—	—
当期純利益	624	1,051	+426	+68.4%
減価償却費	1,152	882	△270	△23.4%

- ◇ 住宅市場は、住宅ローン金利の低下などを背景に比較的好調
- ◇ 売上高は、建材事業が好調に推移し過去最高を更新
- ◇ 損益面は、建材事業の増収やコスト改善、燃料価格の下落、償却負担の減少等により大幅増益

営業利益の増減要因(対前期比)

(単位: 百万円)



(単位:百万円)

	2016/4期	2017/4期	前期比	
			金額	増減率
売上高	21,819	22,629	+809	+3.7%
建材	15,424	16,084	+659	+4.3%
化成品	6,394	6,544	+149	+2.3%
営業利益	791	1,433	+642	+81.1%
建材	△117	632	+749	—
化成品	1,422	1,421	+0	△0.0%
本社経費等	△513	△620	△106	+20.8%

- 《 建材事業 》 売上高は、高級軒天井ボードの拡販、耐火パネル(非住宅)の需要増加等による増収
 損益面も、増収、コスト改善、燃料価格下落、償却負担の減少等で、大幅増益
- 《 化成品事業 》 売上高は、増産設備の稼働により海外需要を取り込み、過去最高を更新
 損益面は、償却負担の増加等により前期並みに落ち着く

(単位:百万円)

	2016/4期	2017/4期	前期比
売上高	15,424	16,084	+659
非住宅売上	3,049	3,078	+29
(比率)	19.8%	19.1%	—
セグメント利益	△117	632	+749

◇住宅分野は高級化路線

高級軒天井ボード(ラフォーレ・ティンバー) の拡販により増収

◇非住宅分野は耐火パネル販売に注力

首都圏再開発需要により増収

◇非住宅分野へエネルギーシフト

住宅分野の好調により非住宅比率は前期比減少となるものの、売上高は伸長

(単位:百万円)

	2016/4期	2017/4期	前期比
売上高	6,394	6,544	+149
ドル建売上(単位:千ドル) (為替影響額)	\$8,947	\$9,671 (△95)	+\$723
(海外)	42.7%	44.5%	—
(国内)	57.3%	55.5%	—
セグメント利益	1,422	1,421	△0

- ◇ 売上高は、円高による目減りにもかかわらず、海外需要を取り込み増収
- ◇ 売上数量ベースで、海外売上が初めて国内売上を上回る

Ⅱ-6.財政状態

Konoshima Chemical Co., Ltd.

(単位:百万円)

	2016/4期末	2017/4期末	前期末比	
現金及び預金	1,132	938	△194	
売上債権	4,524	4,666	+142	
棚卸資産	4,277	3,969	△308	
建物、機械装置	4,502	5,898	+1,396	化成品増産設備を主因として増加
資産計	18,936	19,217	+281	
仕入債務	3,413	3,467	+54	
借入金	5,630	4,884	△745	期末で50億円を切る水準に
負債計	13,420	12,771	△648	
純資産計	5,515	6,446	+930	
負債・純資産計	18,936	19,217	+281	
(自己資本比率)	29.1%	33.5%	+4.4%	30%を達成



100年の歩み、100年の挑戦

Ⅲ 中期経営計画(ローリング)

・中期的な事業環境認識

国内住宅建材業界は、中期的には、少子高齢化と人口減少により縮小傾向

・中期の経営戦略

(1) 基本方針

成熟産業である「住宅分野」から、現有事業の成長産業である「化成品（マグネシウム）分野」への事業転換、及びアーリーステージの「セラミックス分野」の育成

(2) 基本戦略

- ① 建材事業から化成品事業への業態変換
- ② セラミックス事業の本格的事業化
- ③ 住宅から非住宅へのエネルギーシフト
- ④ 住宅分野は、高級化路線

(単位:百万円)

	2017/4期			当初予想比		修正予想比	
	当初予想	修正予想	実績	金額	達成率	金額	達成率
売上高	22,350	22,450	22,629	+279	101.2%	+179	100.8%
営業利益	1,280	1,400	1,433	+153	112.0%	+33	102.4%
経常利益	1,200	1,320	1,348	+148	112.4%	+28	102.2%
(経常利益率)	5.4%	5.9%	6.0%	—	—	—	—
当期純利益	860	980	1,051	+191	122.2%	+71	107.3%
減価償却費	803	842	882	+79	109.9%	+39	104.7%
配当額(円/株)	14	18	20	+6	142.9%	+2	111.1%
(配当性向)	14.9%	16.8%	17.4%	—	—	—	—

- ◇ 経営環境は、建材事業を横ばいと見込むも、良好に伸長
- ◇ 売上高は、建材事業の高級軒天井ボードを主因として増収
- ◇ 損益面は、売上増、燃料価格が想定を下回ったこと等により増益



経常利益は当初中期計画の2017/4期水準を12.4%上回る



中期経営計画のローリング(上方修正)⇒各事業別計画の深化

(単位:百万円)

	2017/4期 実績		2018/4期 予想		予想実績比	
		内 上期		内 上期	金額	増減率
売上高	22,629	10,964	23,300	11,210	+670	+3.0%
営業利益	1,433	701	1,580	770	+146	+10.2%
経常利益	1,348	661	1,500	730	+151	+11.2%
(経常利益率)	6.0%	6.0%	6.4%	6.5%	—	—
当期純利益	1,051	533	1,100	540	+48	+4.7%
減価償却費	882	397	1,030	500	+147	+16.7%
設備投資額	1,646	1,392	2,072	241	+425	+25.8%
配当(円/株)	20	7	24	14	+4	+20.0%
(配当性向)	17.4%	12.0%	20.0%	23.7%	—	—

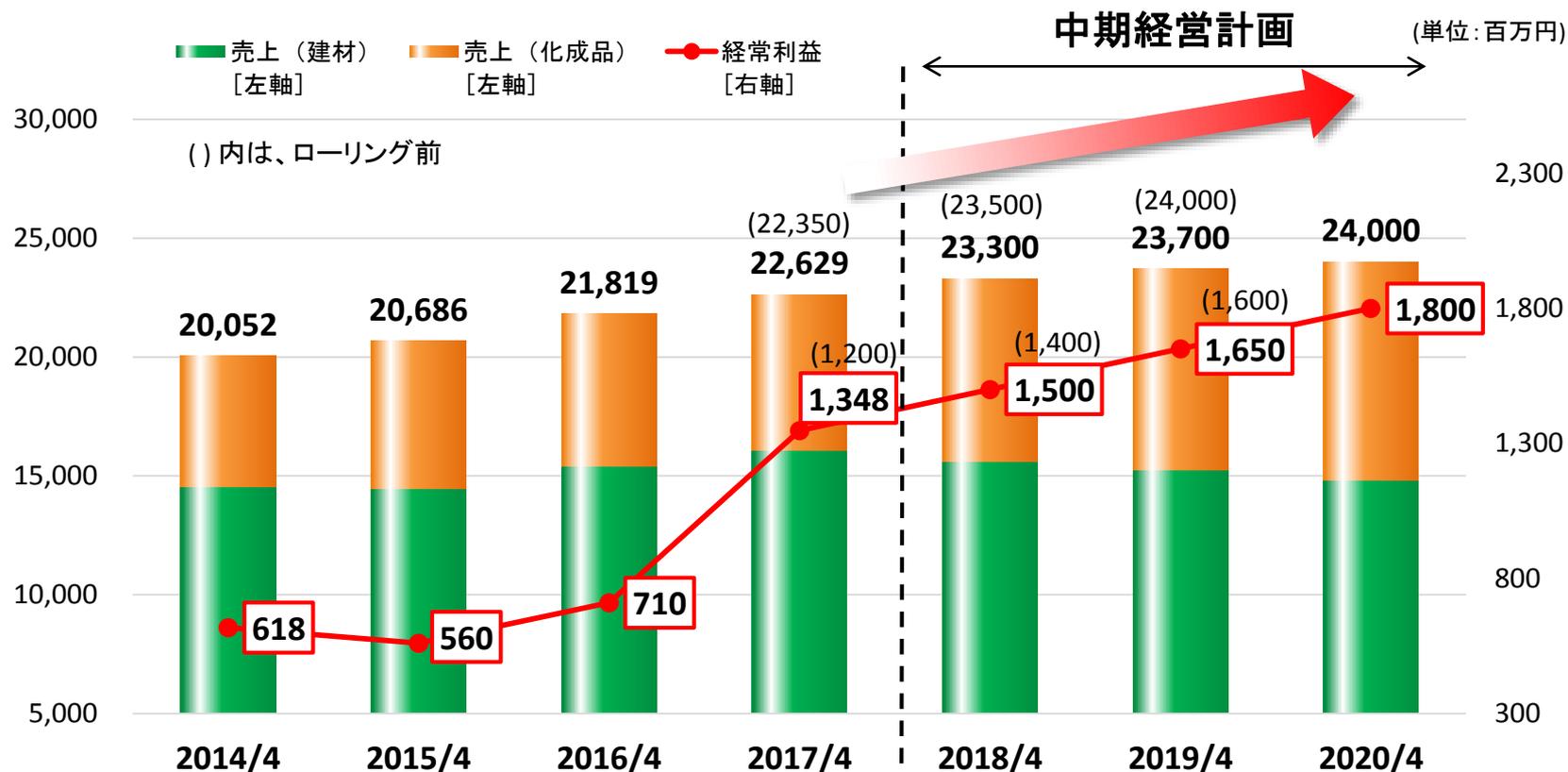
◇当社建材事業の主要マーケットである住宅市場は、やや弱含みを見込む

◇売上高は、化成品の増産設備本格稼働による売上増を見込む

◇損益面は、売上高増加、物流費の低下等により増加

Ⅲ-4.業績計画(ローリング後)

Konoshima Chemical Co., Ltd.



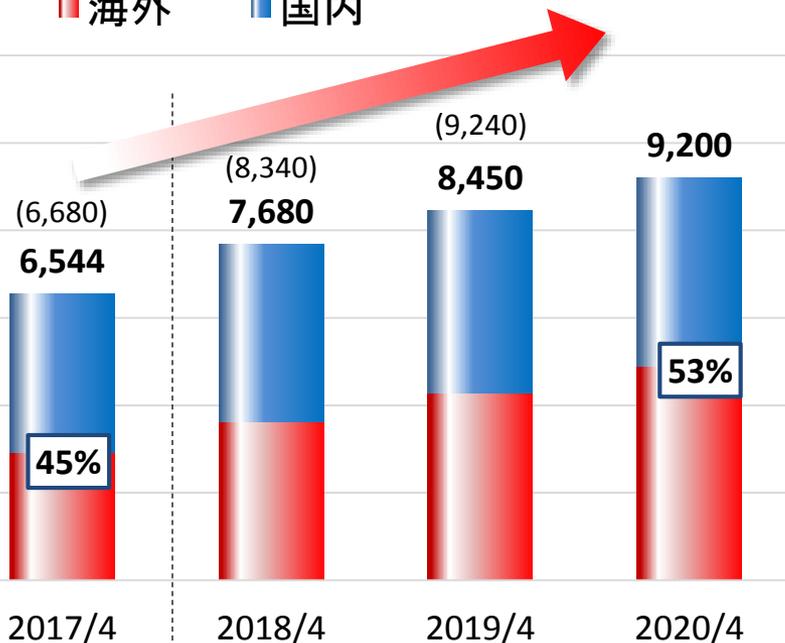
経常利益率	3.1%	2.7%	3.3%	6.0%	6.4%	7.0%	7.5%
自己資本比率	26.6%	28.3%	29.1%	33.5%	36.7%	39%	42%
総資産	17,974	18,253	18,936	19,217	19,874	21,000	22,000
純資産	4,495	5,159	5,515	6,446	7,299	8,270	9,270
設備投資額	553	1,097	1,423	1,646	2,072	2,000	2,000
研究開発費	515	549	623	690	710	720	730

①化成品事業(マグネシウム)は引続き当社の成長エンジン

化成品事業売上

■ 海外 ■ 国内

(単位:百万円)



29%	33%	36%	38%
(30%)	(35%)	(39%)	
化成品比率			

()内は、ローリング前

《 2017年4月期実績 》

- ・ 化成品増産設備 (総投資額17億円) は、2016年10月完成
- ・ セラミックス分野の一部製品不振で減収となったが、マグネシウムは計画通りの実績

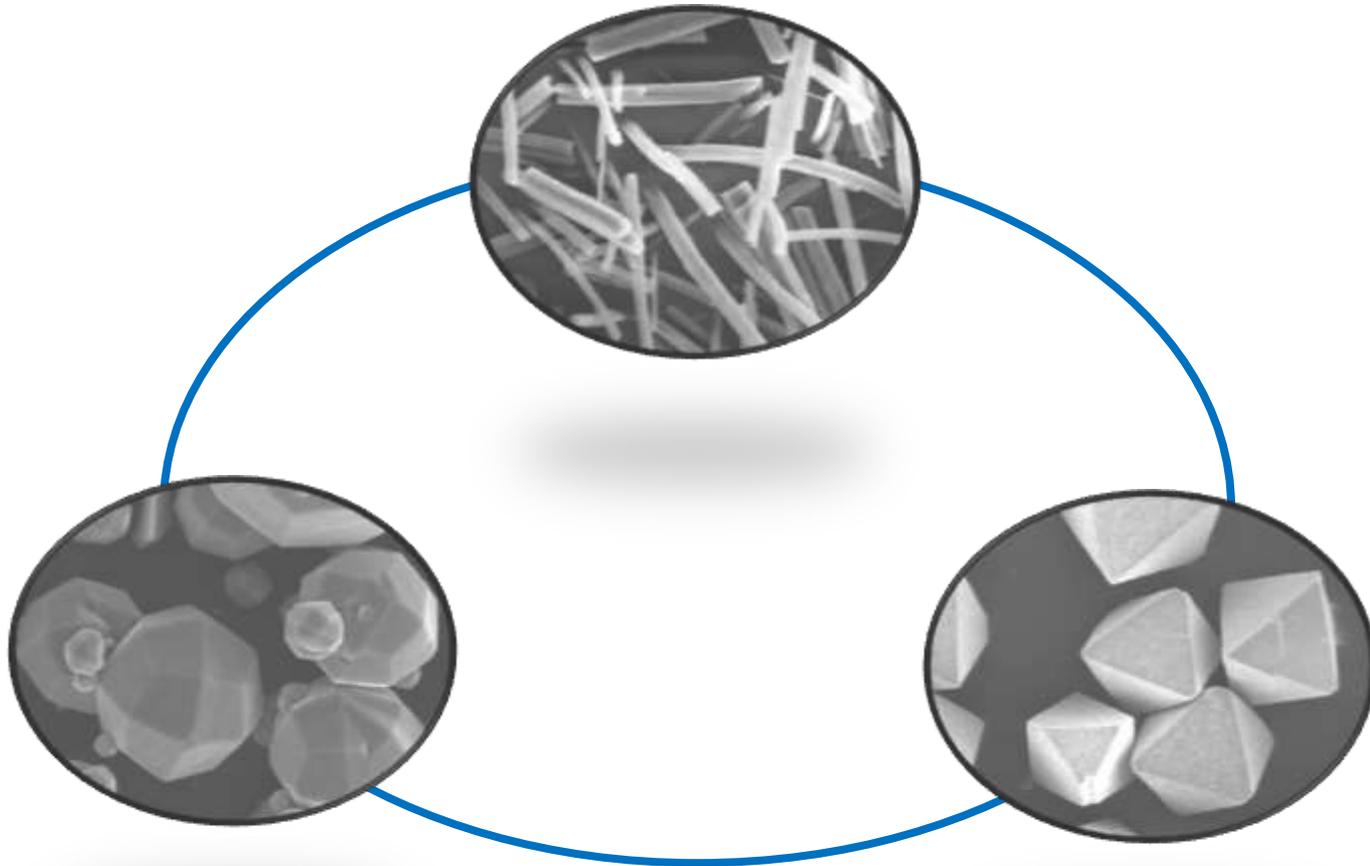
《 中期計画のローリング 》

- ・ 当初計画より出遅れているものの、引き続き今後3年間で売上4割増を計画
- ・ 化成品事業部門売上高比率も引き続き約10%アップ
- ・ 海外売上高比率も50%超目標に



- ・ 粒子処理技術の深化による、より付加価値の高い製品作り

⇒マグネシウムで有する技術の他への展開



(イメージ図)

② セラミクス事業の本格的事業化



YAGセラミクス

Yttrium Aluminium Garnet (イットリウム・アルミニウム・ガーネット)

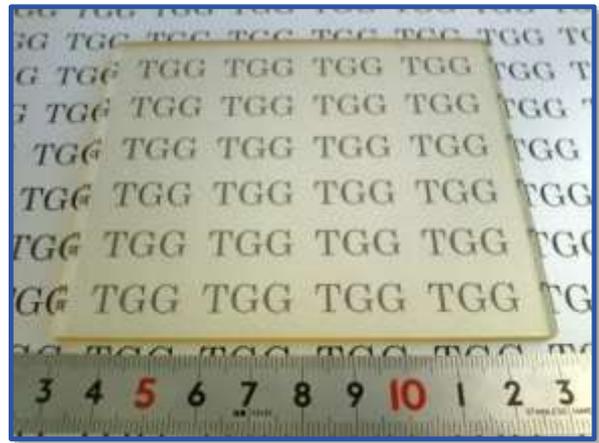
近年大型セラミクス使用の大出力レーザー開発が活発化。
開発拠点の増加、高出力化による使用量の拡大



TGGセラミクス

Terbium Gallium Garnet (テルビウム・ガリウム・ガーネット)

レーザー装置の安定動作には反射光防止装置が必須。
低出力ファイバーレーザー用から大口経による大出力レーザー
開拓

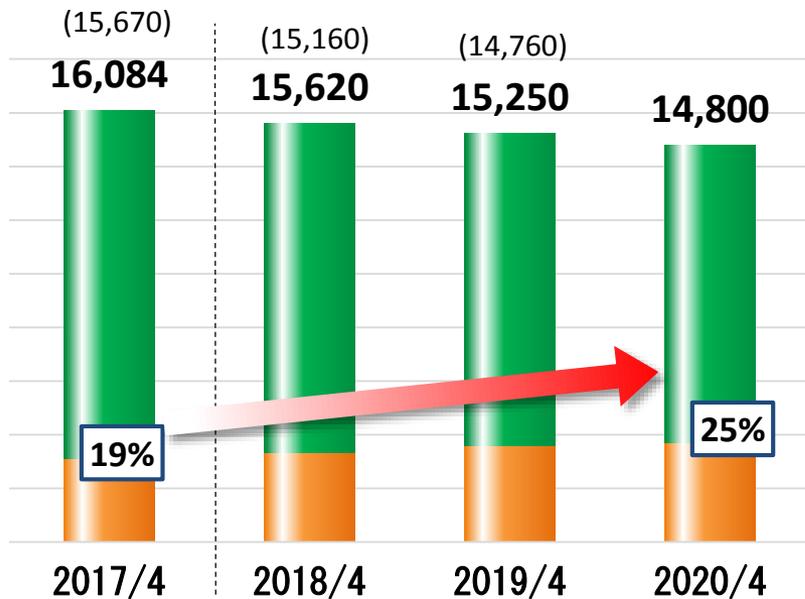


③住宅分野から非住宅分野（公共・商業施設等）へ転換

窯業系建材事業売上

■住宅 ■非住宅

(単位:百万円)



19%	21%	23%	25%
(22%)	(25%)	(30%)	
非住宅比率			

()内は、ローリング前

《 2017年4月期実績 》

- ・ 建材事業の売上全体は、住宅用軒天井ボードの拡販により当初計画達成

《 中期計画のローリング 》

- ・ 非住宅比率は当初計画を下回るが、実額ベースでの拡大を企図
- ・ 独占的シェアを有する耐火パネルのオリンピック関連需要の取り込み
- ・ 譲受したラムダ事業（非住宅）の当社既存建材部門とのシナジー効果の発現
 - － 既存顧客へのラムダ製品拡販
 - － 技術交流による新商品開発（遮音板等）



④住宅分野は、高級化路線

- ・ 防火サイディング事業は、18mm厚の高級品「ドレッセプレミアム」に集中
⇒ 高級市場内でのシェアアップ
- ・ 強みの軒天ボード・破風板も、高級品（ラフォーレティンバー・ラフォーレグレイス）に注力
⇒ 特に高級軒天ボードは、市場への認知の高まりにより急伸
- ・ 内装化粧ボード（シェルテ）は、厚さ3mm市場に新規参入し、新流通経路による拡販





100年の歩み、100年の挑戦

IV 株主還元

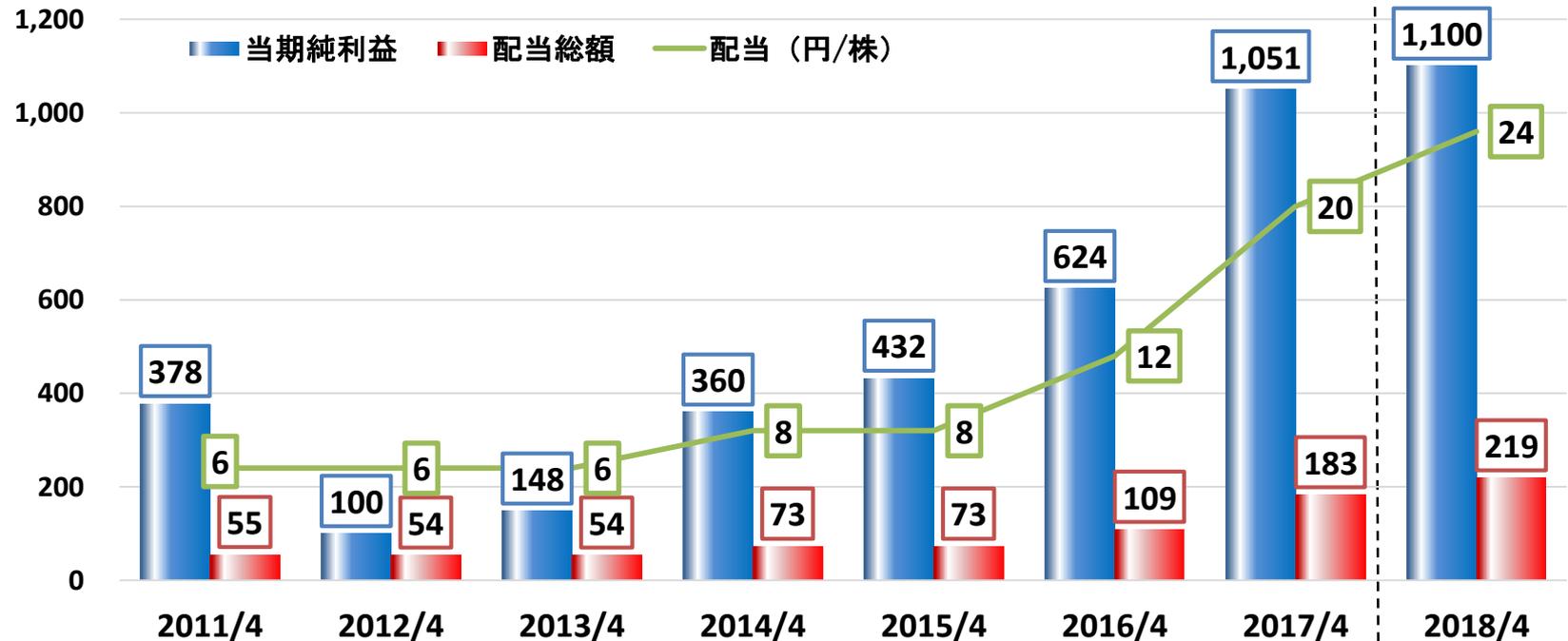
◆ 配当方針

- ・ 利益水準、配当性向及び内部留保の確保等を総合的勘案

◆ 配当予想

- ・ 2018年4月期配当は、創業100周年記念中間配当を実施（普通10円＋記念4円）
年間で24円と増配
- ・ 配当性向は、3年後に25%を目標

(単位:百万円)



配当性向	2011/4	2012/4	2013/4	2014/4	2015/4	2016/4	2017/4	2018/4
	14.5%	54.9%	37.1%	20.4%	16.9%	17.6%	17.4%	20.0%



100年の歩み、100年の挑戦

V 補足資料



(外観イメージ図)



《主旨》

神島化学は、これまでの100年をその技術力を根底に発展しこの先も独自の技術開発を行う
これら技術力を培うベースとして100周年を記念しテクニカルセンターを建設

《方針・コンセプト》

- ① 市場要求対応
- ② 独自技術開発
- ③ 人材教育

名 称	テクニカルセンター
総投資額	約10億8千万円
完成予定	2018年4月頃
建設地	香川県三豊市詫間町（第2工場）
延床面積	技術棟（3階建て）約2,400㎡ 試験場棟（1階建て）約2,000㎡
従業員	46名

地球の未来のために

神島化学ではECOで社会に貢献しています。

建築現場での建材ゴミの軽減に

工場での建材プレカット化を推進しています。
もちろん、カット端材は全てリサイクルしています。

リサイクル原料の使用

神島化学の建材は3種類のリサイクル原料を使用しており、
その割合は50%にもなります。

パレット・緩衝材のリサイクル使用

出荷したパレット・緩衝材は極力回収し、点検・補修を行った上で再使用しています。

住宅のメンテナンス費用を削減する建築材料

高耐久建材製品の開発に力を入れて、メンテナンス費用と回数の削減に一役買っています。

省エネ施工の建築材料

簡単取り付けの金具施工建材で建築現場での省エネに努めています。

